

日頃は、大変お世話になっております。
不動産、建築、社会・経済等のニュースレターです。
お時間のある時に気軽に読んで頂き、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

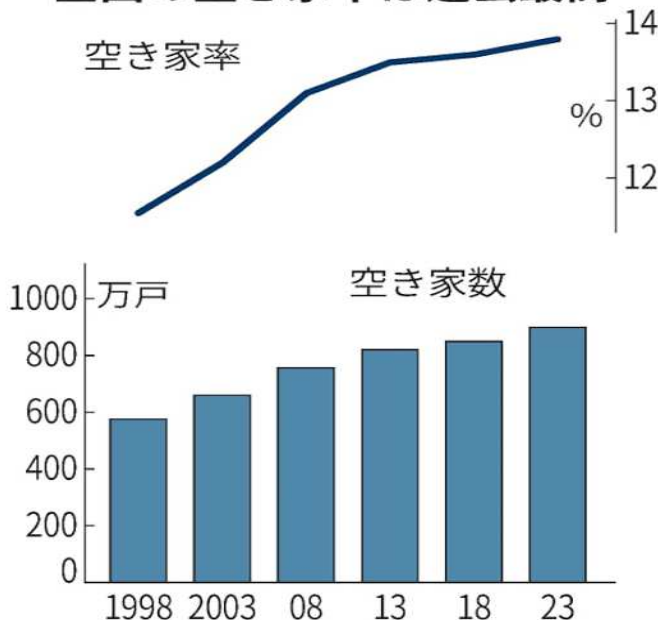
空き家数、東京 23 区は 64.7 万戸で過去最多 総務省

060927

総務省が 25 日発表した 2023 年の住宅・土地統計調査では、東京 23 区の空き家の数が 64 万 6800 戸と、データのある 1958 年以降で最多となった。23 区の総住宅に占める空き家の割合は 10.9%で、前回調査の 18 年(10.4%)から 0.5 ポイント高まった。

調査は 5 年に 1 度実施している。4 月に全国や都道府県別の速報値を公表していた。市区町村別データはこの日の発表で、政令指定都市の空き家率は大阪市が 16.1%、静岡市が 15.2%、札幌市が 13.8%だった。横浜市(8.7%)や福岡市(8.4%)は全国平均を下回った。

全国の空き家率は過去最高



(出所)総務省

全国平均の空き家率は基本集計でも速報段階の 13.8%から変わらず、前回調査の 18 年に比べて 0.2 ポイント上昇して過去最高を更新した。賃貸や別荘用を除いた「放置空き家」の割合は 5.9%で速報段階から変わらなかった。

空き家の増加は景観の悪化や壁などの倒壊による安全上の懸念を生み、全国で社会問題となっている。国土交通省は 7 月から状態が悪い低廉な空き家に限って不動産の仲介会社が受け取る手数料率の上限を引き上げるなど流通を促す策をはじめた。

調査では総住宅数は 6504.7 万戸となり、前回調査に比べ 4.2%増えた。総世帯数は 4.1%増の 5621.5 万世帯だった。

日経新聞